

[施策25 教育環境]

[施策総合評価]


② (8.5点)


[目指す姿]

小・中学校では、安全で快適な施設環境の下で、児童、生徒が充実した教材を活用し、生き生きとして学習に取り組んでいます。

また、各種の就学援助制度により、経済的に安心して就学できる体制が整っています。

[まちづくり指標]

指標1 学校の太陽光発電・緑化ウォール等の設置率		現状値						目標値	
①	単位:% (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	—	11.8	35.2	52.9	58.8	20	50
(指標の説明) 環境教育の一環として、学校に太陽光発電設備や壁面緑化などを進めます。現在市内の学校17校中2校に太陽光発電設備が設置されており、エコへの関心度を促すため様々な設備を設置していく進捗率です。									
(現状と課題) 小学校1校、中学校1校に太陽光発電を設置するとともに、緑化ウォール等を実施するなど、学校の環境対策に取り組んでいます。施設の老朽化も顕著であり、施設改修と併行して進める必要があります。									
(進捗度ランク) 進捗度 123.0% 順調 									
(今後の方策) エコへの関心度を促すため、緑化ウォール等の設置を進めます。									

指標 2 普通教室等の電子黒板整備率		現状値						目標値	
②	単位:% (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	—	3.1	39.1	44.6	62.3	50	100
(指標の説明) 電子黒板の整備を行い I C T (※1) の推進に努めています。平成 22 年 4 月現在に整備を行ったテレビの電子黒板化率は 3.1% でしたが、同年度末は 10.2% となりました。									
(現状と課題) 情報化により学校教材が著しく進化している中で、I C T (※1) を活用した分かりやすい授業方法や、児童、生徒が興味を持ってコンピューターに触れ、慣れ親しむことができる有効な機器の導入検討に当たっては、常に学校現場と連携して取り組む必要があります。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 61.1% やや順調 									
(今後の方策) 情報機器等を活用することで、児童、生徒が理解しやすく、意欲的に授業に取り組むことができるよう、それぞれの場面に応じた有効な機器の整備を学校現場、教育研究部門と連携して進めます。									

## [内部評価]

### 255122 小学校学校図書整備事業

#### 総合評価 8点

新学習指導要領においても読書を推進しているところであり、図書管理システムにより効率的な提供が図られている。幅広く知識を習得するに当たり、必要性の高い事業であり、有効な書籍購入の検討など環境整備を推進する必要がある。

### 255134 中学校学校図書整備事業

#### 総合評価 8点

新学習指導要領においても読書を推進しているところであり、図書管理システムにより効率的な提供が図られている。幅広く知識を習得するに当たり、必要性の高い事業であり、有効な書籍購入の検討など環境整備を推進する必要がある。

(※1) I C T

情報通信技術を活用したコミュニケーション、情報・知識の共有をより強調した表現。(Information & Communication Technology の略)

#### 255216 小学校パソコン機器導入推進事業

##### 総合評価 8点

情報化社会に対応するため、情報教育推進の必要性は非常に高い。効率的かつ有効な運用を図る上で、更新サイクルの早い環境に応じた整備が必要となる。

#### 255219 中学校パソコン機器導入推進事業

##### 総合評価 8点

情報化社会に対応するため、情報教育推進の必要性は非常に高い。効率的かつ有効な運用を図る上で、更新サイクルの早い環境に応じた整備が必要となる。

#### 255222 小学校情報通信技術環境整備事業

##### 総合評価 8点

情報化社会に対応するため、情報教育推進の必要性は非常に高い。効率的かつ有効な運用を図る上で、更新サイクルの早い環境に応じた整備が必要となる。

#### 255225 中学校情報通信技術環境整備事業

##### 総合評価 8点

情報化社会に対応するため、情報教育推進の必要性は非常に高い。効率的かつ有効な運用を図る上で、更新サイクルの早い環境に応じた整備が必要となる。

#### 255301 私立幼稚園就園奨励事業

##### 総合評価 8点

幼児教育の重要性から保護者への負担を軽減する取組みの必要性は高い。国の役割としての支援体制も含めた中で、市の単独負担分について検討していく必要がある。

#### 255313 高校進学資金貸付事業

##### 総合評価 7点

教育の機会均等の観点から、就学の機会が確保され、学習環境を整えることの必要性は高く、効果が見込める事業である。

### [外部評価]

#### アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	74.8%	26位/52施策
重要度	6.0%	24位/52施策

[施策26 学校保健]


[施策総合評価]


② (8.4点)

[目指す姿]

子どもたちは、各種健康診断の実施や安全、安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を食べることにより、健康保持、健康増進が図られ、衛生的な環境の下、心身ともに健康な学校生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標1 肥満・やせ傾向率		現状値					目標値		
①	単位:% (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	10.4	10.4	9.9	9.3	10.5	9.3	8.4
(指標の説明) 肥満傾向の児童、生徒は、高血圧、高脂血症など、将来の糖尿病や心臓病などの生活習慣病につながるものが心配されます。また、思春期にはダイエットのため食事の量を減らす無理な減量をするなどの傾向が見られます。 この指標は、全児童、全生徒に対する肥満ややせ傾向の児童、生徒の割合を示しています。									
(現状と課題) 近年、偏食や食生活の乱れ、運動不足などにより、肥満傾向の児童、生徒やダイエットのため食事の量を減らす無理な減量をするなどの傾向が増加しています。 各種健康診断を実施し、健康の保持、増進を図っています。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 △5.0% もう一步 									
(今後の方策) 家庭や学校、地域も含め一体となった食育の実施や診断結果に応じた対応を行い、生活習慣病などの予防を図ります。									

指標 2 小学校給食残食率		現状値						目標値	
②	単位:% (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	3.3	3.4	2.8	2.4	2.0	3.0	2.7
(指標の説明) 学校給食摂取基準による栄養管理された給食であっても残食が多ければ、児童の健全な発育を支えることができません。栄養バランスの取れたおいしい給食は、健康保持、増進につながります。 この指標は、学校給食の食べ残しされた割合を示しています。									
(現状と課題) 小学校給食の実施により、安全、安心で栄養バランスのとれた豊かな食事を提供しています。また、食に関する指導も行っています。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 216.7% 順調 									
(今後の方策) 食中毒の予防など、学校給食における安全・衛生管理の徹底や家庭や学校、地域も含め一体となった食育の実施、郷土料理の提供など、安全、安心でバランスの取れた豊かな食事の提供を行います。									

## [内部評価]

<p>265101 児童健康管理事業</p> <p><b>総合評価 9点</b></p> <p>児童の健康管理を図り、学校教育の円滑な実施に努める事業として、必要性、有効性、優先性が非常に高く、十分な効果が見込める。</p>
<p>265104 生徒健康管理事業</p> <p><b>総合評価 9点</b></p> <p>生徒の健康管理を図り、学校教育の円滑な実施に努める事業として、必要性、有効性、優先性が非常に高く、十分な効果が見込める。</p>

#### 265207 学校教育管理経費

##### 総合評価 9点

学習効果を高めるため、少人数指導や代替として教員を確保するために必要性の高い事業である。短期の教員確保が困難であることから、関係機関との連携等による確保策を検討する必要がある。

#### 265301 学校給食運営管理事業

##### 総合評価 8点

児童の健康増進、正しい食生活習慣を形成する上で必要性が高く有効な事業である。安全性確保のために計画的な食器の更新を実施するとともに、効率的な運営方式の検討を行う必要がある。

#### 265304 学校給食施設整備事業

##### 総合評価 8点

給食室の老朽化に伴い、食の安全を確保するために計画的な修繕を実施する事業であり、必要性、優先性は高い。

#### 265307 学校給食備品整備事業

##### 総合評価 9点

食の安全確保、円滑な学校給食の運営には、給食備品の順次更新を図る必要性は高い。計画的な更新と、費用対効果を踏まえてリース化の推進が必要である。

#### 265316 中学校給食（選択式）導入準備事業

##### 総合評価 9点

選択式デリバリー給食とすることで、施設費の負担が無く効率性が高い。家庭の味を尊重しつつ食育面にも配慮できることから有効な事業である。臨時栄養士等の円滑な確保について検討していく必要がある。

#### 265501 要保護及び準要保護児童援助事業

##### 総合評価 9点

就学の援助による義務教育の機会均等を図る上で、必要性、優先性の高い事業である。要保護及び準要保護児童の把握に努めることが必要である。

265504 要保護及び準要保護生徒援助事業

総合評価 9点

就学の援助による義務教育の機会均等を図る上で、必要性、優先性の高い事業である。要保護及び準要保護生徒の把握に努めることが必要である。

**[外部評価]**

**アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）**

関心度 65.6% 37位/52施策

重要度 6.7% 22位/52施策

[施策 2.7 教育活動]

[施策総合評価]

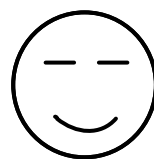
㊦ (7.8点)

[目指す姿]


子どもたちは、家庭・学校・地域の中で各々の個性を尊重し、ともに学び合うことを通して一人ひとりが豊かな心をはぐくみ、生きる力を培い、明るく元気な生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標 1 地域の人材活用実績		現状値						目標値	
単位:人 (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32	
	—	1,500	1,770	1,344	1,799	1,707	1,700	1,900	
(指標の説明) 地域に在住・在勤する知識・経験豊かな人たちに、各教科・領域及び総合的な学習において指導、協力をいただくことで、特色ある教育、特色ある学校づくりを進めています。この指標は、年間のその延べ協力者数を示しています。									
(現状と課題) 学習指導要領の改訂により、小中学校においては、「総合的な学習の時間」の授業時数の減少や学校行事等の精選を図らなければならない状況があり、地域の方に指導いただく時間を十分に確保することが難しくなっています。									
①	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 51.8% やや順調								
(今後の方策) 本事業は児童生徒の豊かな心を育むことに役立っているため、今後もよりよい地域指導者を開拓し、学校間でその情報を共有していくことで、一層の充実を図っていききたい。									





指標 2 情報化社会、国際化社会など 社会の変化に対応した教育 が進められてきていると思 う市民の割合		現状値						目標値	
②	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
		—	16.9	—	15	—	12.9	35	60
	(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、16.9%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 60%に高めることを目標として設定しています。								
	(現状と課題) 市内小中学校には、ICT 機器の設置や利活用が進められ、ICT 機器を使った学習環境の構築を図っています。また、外国人英語指導講師を通じて、外国語教育の推進にも注力しています。このような学校の状況を市民の方に知っていただくことが課題であると考えています。								
	(進捗度ランク) 進捗度 $\Delta 9.3\%$ もう一步 								
(今後の方策) 地域の方が、小中学校の ICT 機器を使った授業や外国人英語指導講師の授業を参観してもらうことが指標に繋がると考えます。小中学校が実施している「学校へ行こう週間」について、地域への PR 活動をさらに努めてもらうよう学校へ依頼していく。									

### [内部評価]

#### 275122 豊かな心育成推進事業

総合評価 8点

QU は児童生徒一人ひとりの抱えた課題等を把握し、満足いく学校生活を過ごすために重要な事業である。学校教育の指針となることから、内容の精査による公平性を保った運用が必要である。

#### 275207 こころ・ときめきスクール推進事業

総合評価 9点

地域との繋がりの中で特色のある教育活動を推進することで、児童生徒の人格形成に寄与する事業として有効である。

**275301 学校安全対策事業**

**総合評価 9点**

児童・生徒の安全確保のために、必要性が極めて高い事業であり、嘱託員や保護者との連携において効果的な運用を図っている。今後も安全体制の充実を一層推進していく必要がある。

**275304 中学校部活動指導者派遣事業**

**総合評価 8点**

専門的技術を有する外部の人材活用を推進し、部活動の活性化を図ることは、生徒の健全育成の観点から効率的かつ有効な事業である。今後も指導者派遣の継続に努める必要がある。

**275313 特別支援教育事業**

**総合評価 9点**

学習障がい等を持つ児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた教育支援、援助の充実を図り、個性を生かすために有効であり、必要性が高い。

**275316 特別支援教育就学奨励等事業**

**総合評価 9点**

就学支援による義務教育の機会均等を図る上で、必要性、優先性の高い事業である。就学困難な児童・生徒の把握に努めることが必要である。

**275401 小学校外国語教育推進事業**

**総合評価 9点**

国際社会への理解や関心を高め、国際感覚を身につけるために必要性が高い事業である。外国人英語講師を低コストで配置し、効率的な運用を図っており、有効な事業として推進に努める必要がある。

**275404 中学校外国語教育推進事業**

**総合評価 9点**

国際化へ対応するため、英語力の向上は必須であり必要性が高い事業である。外国人英語教師を低コストで配置し、効率的な運用を図っており、有効な事業として推進に努める必要がある。

#### 275407 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業

##### 総合評価 7点

外国人児童生徒が円滑な学校生活を送る上で、日本語習得は学習、生活両面で欠かせないことから、必要性、優先性は高い。日本語指導が可能な協力者を派遣することで効率的な運用が図られている。

#### 275501 レッツトライひまわり環境ISO推進事業

##### 総合評価 8点

地球温暖化防止など環境保全に対する児童・生徒への環境教育の取り組みとして、必要性は高く、環境問題のとらえ方についても各学校の創意工夫が活かされている。

#### 275504 教育研修事業

##### 総合評価 9点

教職員の研修は、本人の資質の向上には欠かせないものであり、児童生徒への質の高い教育活動へ繋がることから必要性は高い。外部講師を招き一斉研修を実施することで効率的な運用が図られている。

#### 275510 教育研究事業

##### 総合評価 8点

今日的な教育に関する基礎・専門的な分野での課題などを調査研究し、教育課程に反映するなど必要性は高い。成果を副読本などで発表し、市民も目にする機会があることから、有効な成果については積極的な周知を検討する必要がある。

#### 275516 教職員研修事業

##### 総合評価 9点

教職員としての資質の向上や指導力の向上は、児童生徒への質の高い教育活動へ繋がることから必要性が高い。夏休み期間に専門的講師を招いて実施するなど効率的な運用が図られている。

#### 275522 教育史編さん事業

##### 総合評価 8点

座間の教育史に関する歴史的価値をもつ資料について、後世に伝えるために収集、整理する意義は大きく、継続して実施する必要性は高い。人的手当が課題であることから、効率的な運用を検討する必要がある。

#### 275601 教育相談事業

##### 総合評価 9点

児童生徒の教育環境を取り巻く相談内容は多様であり、事業の実施により一定の成果が上がっていることから必要性は極めて高い。緊急のケースについても優先性が高く、保護者・児童生徒・教師が一体となり、体制の充実を検討していく必要がある。

#### 275604 適応指導教室事業

##### 総合評価 9点

不登校児童・生徒の集団生活への適応指導は、緊急的課題であり必要性は高い。適切な指導の面で成果を上げており有効な事業である。要因が多岐であり専門家による相談であるが復帰に相当の期間を要している現状にある。

### [外部評価]

#### アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	71.5%	27位/52施策
重要度	10.3%	13位/52施策

[施策28 生涯学習]


[施策総合評価]

◎ (6.2点)


[目指す姿]

市民は、自ら関心のある生涯学習や社会の要請にこたえた学習に積極的に取り組み、その成果を生かした豊かな生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標1 公民館・地区文化センター の講座受講者数		現状値						目標値	
単位:人 (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32	
	—	5,703	4,985	4,293	4,586	4,842	6,000	7,000	
(指標の説明) 公民館及び地区文化センターで開催する講座等の年間延べ参加者数を示しています。									
(現状と課題) 乳幼児を持つ親のための学級や高齢者を対象とした学級、身近な暮らしにかかわる講座等を実施しています。市民の学習ニーズの広がりや生活形態の多様化に応えるには、市民と協働する必要もあります。									
(進捗よく度ランク) ① 進捗よく度 △66.4% がんばろう 									
(今後の方策) 地域の課題を取り上げたり、日中参加できない市民の方々を考慮し、講座の持ち方を工夫する。また、講座の企画段階から市民と協働で事業を展開し、より多くの世代の市民が公民館を利用できるよう努め、市民生活が豊かで潤いあるものとなるように取り組みます。									

指標 2 図書館貸出利 用者数		現状値					目標値		
②	単位: 人 (担当 課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	240,764	237,780	230,356	227,397	216,610	250,000	280,000
(指標の説明) 年間の図書館の本館、公民館図書室などでの図書資料の延べ貸出利用者数を示しています。									
(現状と課題) 貸出者数は減少傾向にあります。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 △61.6% がんばろう									
									
(今後の方策) 引き続き読書普及活動に努めます。									

<b>指標 3</b> 「いつでも、どこでも、だれでも学べる」という生涯学習の環境が整備されてきていると思う <b>市民の割合</b>	現状値						目標値		
	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
		—	31.3	—	28	—	15.6	35	40
③	(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、31.3%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 40%に高めることを目標として設定しています。								
	(現状と課題) 公民館 3 館での講座・学級や、市民大学の開催、生涯学習宅配便の設置、市民自主企画講座・家庭教育講座等を行っています。また、サークル立上げの支援等を行い、継続した活動ができる環境作りに努めていきます。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta$ 180.5% がんばろう <div style="text-align: center;">  </div>								
	(今後の方策) 生涯学習施設の整備、社会教育事業の推進、学習情報の提供を行い、生涯学習環境の整備に努めます。								

## [内部評価]

### 285103 座間市公民館学級・講座開設事業

#### 総合評価 9点

高齢化社会に伴い、市民の自由な時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高い。講座開設時は教材等について受益者負担を求めるなど効率的な運用を図っている。目標と成果を検証し、さらに事業の推進に努める必要がある。

### 285105 市民大学運営事業

#### 総合評価 9点

大学の特色を生かした学習機会の提供は、豊かな学習の推進に必要な施策である。また、受講料、テキスト代の受益者負担等について、一定の見直しを図るとともに、施設活用経費を伴わずに低コストで効率的な運用に努めている。

**285107 北地区文化センター学級・講座開設事業**

**総合評価 9点**

高齢化社会に伴い、市民の自由な時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高い。講座開設時は教材等について受益者負担を求めるなど効率的な運用を図っている。目標と成果を検証し、さらに事業の推進に努める必要がある。

**285109 東地区文化センター学級・講座開設事業**

**総合評価 9点**

高齢化社会に伴い、市民の自由な時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高い。講座開設時は教材等について受益者負担を求めるなど効率的な運用を図っている。目標と成果を検証し、さらに事業の推進に努める必要がある。

**285117 生涯学習フェスティバル開催事業**

**総合評価 8点**

広く活動を発表する場があることは、市民の学習意欲の高揚により地域に根ざした生涯学習を推進するために事業の必要性は高い。実行委員会方式により市民参加に努めるなど一定の成果が認められる。幅広い年齢層の参加者増加による事業の拡大に努める必要がある。

**285121 座間市公民館設備整備事業**

**総合評価 8点**

安全性や利便性に配慮し、市民が快適に利用できる環境を整備するための事業として必要性は高い。将来的な施設の運用を考慮した計画的な整備が必要である。

**285123 北地区文化センター設備整備事業**

**総合評価 8点**

安全性や利便性に配慮し、市民が快適に利用できる環境を整備するための事業として必要性は高い。将来的な施設の運用を考慮した計画的な整備が必要である。

**285125 東地区文化センター設備整備事業**

**総合評価 8点**

安全性や利便性に配慮し、市民が快適に利用できる環境を整備するための事業として必要性は高い。将来的な施設の運用を考慮した計画的な整備が必要である。



**285161 図書館資料整備事業**

**総合評価 9点**

市民の自主的な学習意欲の向上、多様、高度化される要求に応えるような豊富な図書資料の提供に努めることの必要性は高い。広域での相互貸出による図書の活用など一層の効率化に努める必要がある。

**285171 図書館フロアワーク事業**

**総合評価 8点**

図書館利用者等への案内や、返却された本の整理等が効率的に行われ、有効性が高い事業である。案内や本の整理について見直すことでより内容の充実を図る必要がある。

**285201 家庭教育推進事業**

**総合評価 9点**

家庭教育の充実と向上に繋がり、必要性は高い。他事業との重複も含めて、事業効果、効率性を整理、検証する必要がある。

**285301 市民自主企画講座開設事業**

**総合評価 7点**

協働のまちづくりを推進する視点においても、自らが課題を見出し講座を企画することは、学びあうコミュニティの醸成に有効であり、社会課題に応えた講座の開設などに期待ができる。一定の助成額で有益な事業が展開され効率性も高い。

**285404 社会教育指導員設置事業**

**総合評価 8点**

協働のまちづくりを進める上で、学びあうコミュニティのコーディネーター役として役割は大きく、住民相互の学習支援や企画立案の活動に必要な事業である。適切な配置により効率的に運用されている。

**285507 図書館運営事業**

**総合評価 7点**

地域の文化情報拠点として、子どもから高齢者を対象に多様な取り組みを行っており必要性は極めて高い。今後、ICT 社会への対応と利用者ニーズの把握により、一層の充実した運営を検討する必要がある。

## [外部評価]

### アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	70.2%	28位/52施策
重要度	4.3%	31位/52施策

### 外部評価委員（評価・提言 H27年3月実施）

- ① 「あすなろ大学」の活動からは、特に定年退職した男性の地域での居場所、活躍の場所が生み出されている。市内外から講師として招かれるほどの研鑽を重ねていることは、大きな成果として評価できる。今後はこの取り組みの経験を、庁内の同種事業に活かしてほしい。
- ② 今後も枠にとらわれずにタイムリーな講座の開設を期待したい。また、常に外部評価結果、公民館運営審議会及び利用者の声に耳を傾け、的確にニーズを捉えることによる事業への反映を望む。

### 外部評価（外部評価委員）に対する対応

- ① 本事業の特色は、通年（毎週金曜日、他全50余回）のプログラムと、毎年受講可能な継続性、プログラムの運営への受講生自治会組織の関わりにあります。今後も公民館の学習機会として、社会的な課題、地域生活課題と関わることで、例えば地域福祉、まちづくり、自治会活動など、庁内関連部局の学習、啓発事業と連携し、一人ひとりの参加をすすめ、併せて自主的な受講生の自治活動の中から、市民参画の一形態として高齢者の声とエネルギーを反映できるよう進めます。  
また、庁内の同種事業につきましては、できる限り協力していきたいと思っております。
- ② 公民館事業運営の柱である、「市民の学習ニーズをとらえ、求めに応じた学習機会」を創造するために、これまで以上に企画委員会、準備会方式を取り入れて、「教育分野の枠」にとらわれず、学級・講座を企画、運営します。社会教育における学習課題や文化事業に関しては、企画委員会に公民館運営審議会委員に直接関わっていただいておりますが、行政課題に結びつく課題学習に関しても、外部評価いただいた結果を分析し、関連部局職員の声聞きくなど、即時性のある学習内容を取り入れるよう努めます。

[施策 29 市民文化]


[施策総合評価]


◎ (6.4点)


[目指す姿]

市民は、芸術文化を親しみ豊かな生活を営むとともに、地域の歴史や文化財への関心を高め、次世代に伝える活動に取り組んでいます。

[まちづくり指標]

指標 1 何らかの芸術文化活動を行っている市民の割合		現状値						目標値	
①	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
		—	20	—	19	—	16.2	25	30
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「している」と回答した市民の割合は、20%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 30%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 市民は、こころの豊かさや個性の尊重など精神的な充足を求めるとともに、芸術文化に対する関心を強め、日常生活におけるうるおいを重要視する傾向にあります。今後とも、市民の関心を高め、次世代に伝える活動に取り組むとともに、多くの市民が芸術文化に親しみ豊かな生活を営むことができるよう環境を整える必要があります。									
(進捗度ランク) 進捗度 △38.0% がんばろう 									
(今後の方策) 市民の芸術文化意識の向上とスキルアップを図ると同時に、市民自らが様々な芸術文化活動を活発に行える環境づくりを目指し、文化団体の育成のための支援に努めます。									

指標 2 市民文化会館 の利 用者数		現状値					目標値		
②	単位: 人 (担当 課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
		—	228,010	219,815	214,346	219,040	225,017	240,000	250,000
(指標の説明) 1年間の市民文化会館の利用者総数を指標として設定しています。									
(現状と課題) 地域文化の向上を図るため、多くの市民の参加がある市民芸術祭や写真コンテスト、優れた芸術を紹介するコンサートや展示会などを開催しています。今後も、より一層の市民ニーズの把握に努め、芸術文化活動の拠点としてより多くの市民に利用されるよう運営の充実を図る必要があります。									
(進捗度ランク) 進捗度△13.6% もう一步 									
(今後の方策) 施設の維持管理を計画的に行い、健全な管理運営に努めるとともに、指定管理者の能力を生かせる環境づくりを目指し、多くの市民に芸術文化活動の場の提供を図ります。									

指標 3 「大風揚げ」など歴史・伝統文化が保存・継承されてきていると思う市民の割合		現状値						目標値	
③	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
		—	80.9	—	74.3	—	72.2	83	85
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、80.9%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 85%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 市内の指定重要文化財保持者や入谷歌舞伎・祭囃子などの民俗芸能継承団体を中心に、伝承や周知、適正な管理保存について支援を行っていますが、目まぐるしく進む都市化と近年の少子高齢化傾向により、身近な文化財の紹介や資料の公開・活用、伝統芸能の後継者育成の育成を図っていくことが必要です。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 212.2\%$ がんばろう 									
(今後の方策) 市内の指定文化財などは、春と秋の文化財めぐりや郷土講演会での市民を中心にした紹介事業の展開を行っています。また、入谷歌舞伎・各地地区の祭囃子継承団体については後継者育成にかかわる活動や公演会場の確保などの支援を行っていますが、様々なメディアを活用した公演会のPRなどをより広範に行っていきます。 また、有形文化財については、市ホームページ上での公開や、ハーモニーホール座間の常設展示室を活用し積極的な紹介活動を行います。									

## [内部評価]

### 295201 スポーツ・文化振興財団運営補助事業

#### 総合評価 9点

市民のスポーツ活動や芸術文化活動の振興において、当該財団の果たす役割は大きく必要性は高い。限られた財源、人材等を有効に活用し、さらに効率的な運用に努める必要がある。

### 295204 芸術祭等開催事業

#### 総合評価 9点

芸術文化活動における市民の発表の場を提供し、豊かな心を育む事業として必要である。運営を実行委員会形式とし経費削減に努めるなど効率性も高い。

### 295207 芸術文化啓発事業

#### 総合評価 8点

市民の芸術文化のレベル向上を図ることにより、芸術文化活動を活発化するために必要性は高い。啓発事業として継続するに当たり、効率性を高めるための工夫が必要である。

### 295301 郷土資料館整備事業

#### 総合評価 8点

市の文化遺産を後世に伝えるために必要な施設整備事業である。検討委員会等で適切な設置について有意義な取り組みが実施されており効率性は高い。市民の文化ポリシーとして整備に係る研究を進めていく必要がある。

### 295304 文化財等保存・継承事業

#### 総合評価 7点

先人の足跡を残す座間特有の文化財の保護、保存、継承には、一定の支援が必要である。費用対効果を勘案し低コストで効率的な運用がなされている。

### 295328 市史編さん事業

#### 総合評価 7点

座間市の成り立ち等、様々なデータを活用、整理し、成果として活字化することで市民に情報を発信するために必要な事業である。今後は、市民、行政のデータベースとして重要性が高まることが想定されるため、事業目標を精査する必要がある。

**[外部評価]**

**アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）**

関心度      62.9%      41位/52施策

重要度      2.6%      42位/52施策

[施策30 青少年育成]


[施策総合評価]

◎ (5.8点)


[目指す姿]


本市の青少年は、学校生活やスポーツ、文化活動を通じ、めまぐるしく変化する社会情勢にも対応して、夢や希望を抱いて積極的な社会生活を送ることのできる自立した大人になるよう成長しています。

[まちづくり指標]

指標1 過去1年間に何らかの青少年育成活動にかかわったことのある市民の割合		現状値						目標値	
①	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
			—	15.4	—	8.8	—	8.3	19
(指標の説明) 平成22年度の市民アンケート調査結果では「ある」と回答した市民の割合は、15.4%でした。この割合を平成32年度までに本施策の推進により21%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) ① 青少年センター事業、遊友クラブ、青少年指導員・補導員活動などのボランティア活動を通して、市民が青少年達との関わりを持つ機会は非常に少ないが、これらの機会をきっかけにして、より多くの市民の方々に青少年との交流を深めてもらいたい、現状では中々難しい。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 △126.8% がんばろう 									
(今後の方策) 青少年との関わりを持てる「場」や「機会」を増やし、より青少年との交流を深めます。									



指標 2 青少年育成事業の参加者等の 数		現状値					目標値	
単位:人 (担当課調)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H32
	—	9,803	4,726	5,601	4,378	5,066	11,381	12,519
②	(指標の説明) 小学校ブロック子ども会スポーツ大会や成人式、青少年芸術祭の参加者総数を示しています。							
	(現状と課題) 各種事業や成人式など、開催に伴う事前の周知には力を注いでいるが、興味や関心が薄れてきているのか、参加者が横ばいである。							
	(進捗度ランク) 進捗度 $\Delta 174.4\%$ がんばろう 							
	(今後の方策) 天候にも左右されるが、参加者が満足感を持てるような事業的内容を実施している。							

指標 3 ボランティア活動などを通じた 青少年の社会参加が増えてきて いると思う市民の割合		現状値						目標値	
③	単位:% (アンケート)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32
		—	22.1	—	15.1	—	11.3	24	26
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、22.1%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 26%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 被災地への青少年による、災害ボランティア活動が話題にもなりましたが、日常的な状況においても、社会参加ができる環境を整える必要がある。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta$ 276.9% がんばろう 									
(今後の方策) 学校・地域・青少年育成団体・行政が連携して、青少年達と地域等との交流の場を提供し、ボランティアに参加できる環境を整える。									

### [内部評価]

#### 305101 青少年センター活動事業

##### 総合評価 8点

異年齢間や地域との交流、体験を促進し、子供たちの社会性や主体性、創造性を培う事業であり必要性は高い。実行委員及び地域の指導者などの協力により効率的な運営が図られており効果は高い。よりよい事業環境と内容の整備に努めていく必要がある。

#### 305113 清川自然の村施設撤去事業

##### 総合評価 6点

原状復帰するために必要な事業である。地権者等との調整の下、早期に撤去、用地返却に努める必要がある。

#### 305204 青少年活動育成事業

##### 総合評価 8点

児童・生徒を取り巻く社会情勢の変化に対応する中で、学校、家庭、地域の連携として遊友クラブの果たす役割は大きく必要性は高い。実行委員会や地域指導者の協力を得て効率的な運用が図られている。さらに多くの参加が得られるよう地域の人材発掘、種目の工夫などに努める必要がある。

#### 305207 地域リーダー養成事業

##### 総合評価 8点

野外活動や研修会を通じてリーダーを養成することは、青少年の自主的活動の更なる向上に繋がることから必要性は高い。子ども会活動が低迷している現状において、将来的に地域を担うことができるような人材育成に期待ができる。

#### 305404 青少年相談事業

##### 総合評価 8点

青少年の一般的な相談件数は減少傾向にあるものの、心理面での相談は増加しており必要性は高い。一方、非行の問題などの教育相談との住み分けが難しいことから、統合などの検討が必要である。

### [外部評価]

#### アンケート結果（H26年5月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	66.5%	33位/52施策
重要度	3.6%	37位/52施策